

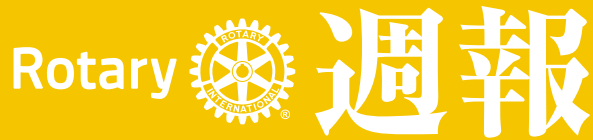
2022-2023年度国際ロータリーのテーマ



2022-2023年度国際ロータリー第2690地区のスローガン
ロータリーの素晴らしさを体感しよう!

2022-2023年度岡山北ロータリークラブのスローガン
新たな道

2022~2023年度 Rotary Club of Okayama North



国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日 / 毎火曜日 12:30~13:30

理事・役員

2022.7~2023.6

会長(理事) 廣野景治也
副会長(理事) 皆木英太郎
幹事(理事) 中杉山本和太
副幹事 杉山本井
会計 山本秀郎
S.A.A.(理事) 牧宮 宏
副S.A.A.

会員増強・退会防止(理事) 高 畠 浩
広報(理事) 永 山 雅
奉仕プロジェクト(理事) 馬 場 幸
ロータリー財団(理事) 谷 本 幸
親睦活動 高 橋 茂
プログラム 杉 山 洋
直前会長 岸 本 成
次期会長 本 達

モバイルサイトへのアクセスは
QRコードをご利用ください。
(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「アスリートの生涯価値の最大化」
AthReebo 株式会社
代表取締役 金 沢 景 敏 様

次回6月20日のプログラム

「一年を振り返って」
副会長 皆 木 英 也 会員
副幹事 杉 山 本 洋 会員
S.A.A. 牧 宮 宏 会員
副S.A.A.

6月のお祝い行事

会員誕生日：鴻上、牧本、松田、佐々木君
結婚記念日：木道、岸本、杉本君

前回5月30日の例会記録

出席の状況

会員数 50名(出席免除者0名)
出席者数 30名
欠席者数 20名
出席率 60.00%

5月ホームクラブ平均出席率 61.33%



竹内先生と

スケジュール

6月 ロータリー親睦活動月間

20日(火) 12:30~例会：退任挨拶
13:40~第3回被選理事役員会
27日(火) 12:30~例会：退任挨拶

7月 母子の健康月間

4日(火) 18:00~第1回理事役員会
19:00~例会：旧ひな壇慰労&新会員歓迎夜間例会
11日(火) 12:30~例会：就任挨拶
18日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
25日(火) 12:30~例会：就任挨拶

会長挨拶



本日ゲストの竹内先生は、私がプログラム委員会の副委員長だった2015年2月に、一度卓話をお願いしています。

当時は、「見えないから見えたもの」と題して先生の生い立ちから点字ブロックの石碑やモンゴルに盲学校を建てられて、先生の映画が完成した頃にお話をいただきました。

今日はそれから、近年の活動の「ヒカリカナタ基金」を設立されてのお話をいただきます。

また、竹内先生は1964年（S39年）の東京パラリンピックの盲人卓球で金メダルを取られ、2021年に開催された東京パラリンピックの開会式において、国立競技場の中央まで奥様と一緒に聖火を運ぶ大役を果たされました。



幹事報告

1. 5月16日（火）開催の会場移動夜間例会には多くの皆様にご出席いただきありがとうございました。
2. 次週6月6日（火）の例会は定款第7条第1節により取消しとなっておりますのでお間違いのないようお願いいたします。
3. 財団室NEWS 6月号、他クラブ週報を回覧いたします。



幹事報告

S.A.A.

廣野君：竹内先生、本日はよろしく申し上げます。

今年度の例会も本日を含めて、あと4回となりました。皆様の御出席をよろしく申し上げます。

皆木君：竹内昌彦様 ご来訪ありがとうございます。お話を楽しみにしています。

米林君：質問です。ロータリーの友主催の俳句大会で岡山北クラブ船橋タキ子さんが入選しています。当クラブの親族の方と思うのですが、ご存知の方がいらっしゃるでしょうか。

伊藤君：竹内様の卓話に感謝致します。

岸本君：竹内先生 本日はよろしく申し上げます。

永山君：本日、高田屋表町店内に生わらびもち屋をオープンいたしました。テーブルに試食をご用意しております。11：00～20：00 お正月以外は無休でやりますので、どうぞよろしく申し上げます。

堀川君：スマイルチケットをなくしたので再発行していただきました。お手数おかけしてすみません。ありがとうございます。

磯島(理)君：会社行事が重なり 出席出来なくて申し訳ありません。

本日はロータリーの友の紹介をさせていただきます。宜しくお願い致します。



出席報告



スマイル





雑誌委員会 副委員長 磯島 理恵 会員

「ロータリーの友5月号」の紹介

5月は青少年奉仕月間と言うことで、青少年交換プログラムを紹介。

特にウクライナへの進行でポーランドに難民の子ども達の心を癒やそうと、単独でポーランドに渡った女子高校生の活動を知った大阪RCが支援をして、再びポーランドに渡ることができた素晴らしい青少年交換プログラムを紹介。

卓話

「ヒカリをカナタへ」

認定NPO法人 ヒカリカナタ基金 理事長 竹内 昌彦様



全国で二千回を越える講演をされてきた竹内先生のお話を少しでも多くの時間で聴いていただきたいとの想いで例会進行を速め、約30分のご講演をいただくことができました。心を打つお話に皆さんが真剣に耳を傾けていただきました。

今回は、三つの人との出会いのお話。

一つ目は、学校での先生との出会い。小学校1年生のときには目があまり見えないことでいじめを受けていたけれど、2年生になったときに、担任の先生の投げかけによって、クラス全体が味方になって支えてくれた話。また、全盲となって盲学校で「オール5」の成績よりも「本当に勉強ができる人」のこのの意味を教えてくれた先生のこと。

二つ目は、目が見えなくなった自分を外に連れだしていろいろな体験をさせることで、心と体を鍛えてくれた両親のお話。特に盲人卓球で金メダルを取った1964年の東京パラリンピックに出発するときに、普段物静かな父親が岡山駅で「竹内昌彦バンザイ」と子育ての勝利宣言のように声を張り上げて見送ってくれたこと。

三つめは今の多くの仲間たち。特に、岡山発祥の「点字ブロック」の歴史を残し、全国に広めるためのモニュメントをつくるときに一緒にお金を集めたり、モンゴルに盲学校をつくるために汗を流してくれたり、今でも様々な活動を支えてくれている仲間たちのこと。

そして、障がいを持った長男を7歳で亡くした辛いお話には声も震え、命の大切さをお話いただきました。自殺で自らの命を絶っている現状から、一人でも多くの子供たちに話を聴いてもらって、「命は自分一人の命では無い」こと、両親の愛情の話をして、いつかは明るい未来があることを伝えていきたいとのことでした。

また、現在はNPO法人を立ち上げてカンボジアをはじめ、発展途上国の子供たちの目が見えるようにと手術のための寄付を集めていて、現在は600人の子供たちの目を治すことができたとの報告をいただきました。

今後も竹内先生が子供たちや学校でお話しをする機会をいただければと思っていますので、会員の皆様も機会があればお知らせ下さい。

(廣野 記)



